



通

達

平成 21 年 6 月 5 日

社長 大中勝博

今月は当社の決算を迎えます。昨秋からの世界経済の急激な収縮により日本、とりわけ当社においても経営の舵取りは非常に難しいものがありました。大方の当社の顧客企業は本年 4 月に新しい期を迎ましたが、4 月以降は当社の売上高が月次で約 30 % 減少しております。それに対応して、当社は已む無く部分休業を行って皆様にご辛抱を頂いており、誠に申し訳なく思っております。

既に何度か皆様に経済動向についての所見を申し上げた通り、あと 1 年の辛抱と思います。経済界の論調等でも先行きの悲観論はだいぶ収まっています。もとより、当社の経営好転への影響は未だ先であり、向う 1 年は旧来の水準までやっと漸増してくる程度でしょう。皆様にご案内の通り、当社はこの未曾有の経済変動にすばやく対策を打ちました。当然のことながら皆様のご協力のお蔭と心より感謝しております。

今春には銀行よりかなり潤沢に借入を致し、経営の安全性を確保しました。但し、この資金は向う 1 年の皆様の生活を支えるためのものであり、かつ返済をしてゆかねばなりませんから、大切に使ってゆきます。謂わば厳寒の冬を生き抜くための食料のようなものです。

幸い、この厳寒期は皆様自身の教育投資と会社の収益構造の転換を行う絶好のチャンスであるという経営判断を、皆様によく理解して頂いており、着々と手を打っています。自社商品の開発や、5 月に受注活動をして、6 月成約になったシステム開発の受託も社内で実施しております。又、ホームページでお知らせしている通り、新事務所移転を機にテレワークも採用できるように研究を致しております。

さて、夏季賞与については経済収縮に伴う売上及び利益の劣化と会社の体力温存をする必要から、皆様にかなりご辛抱を頂かねばなりません。但し、今回限りで次の賞与は普通の状態になるように一層の経営努力をお約束いたします。

来月の給与改定についても、殆どの顧客との契約更改で値引要請を受け、余力はありませんので昇給停止とします。但し、今後の期中であっても全体として経営好転が果たせた場合にはその時点で昇給停止は解除とします。

最後に、現状は率直にお知らせしておりますが、あまり悲観論に傾かないで頂きたいと思っております。例え経済環境は「百年に一度の大不況」と呼ばれようとも、我々全員は日々生きており、未来を開拓する力があります。現状固定では決してありません。希望を持ち、積極的な思考と行動だけが現実を変えることができます。皆様のご協力を感謝します。

#### 【人 事】

中嶋 光一：平成 21 年 6 月 1 日より休業を解き、社内受託開発チーム・リーダーとします。

植木 敦之：平成 21 年 6 月 1 日より休業を解き、SAS ネットワーク構築業務に復帰配属します。

西村 信途：平成 21 年 7 月 1 日よりリコー業務を解き、休業とします。

#### 【表 彰】

嶋田 裕介：平成 21 年春季国家試験「IT パスポート試験」合格につき賞詞表彰とします。

#### 【月例会】

日時：平成 21 年 7 月 8 日(水) 18:00 ~ 19:30 本社事務所で開催  
議題：賞与支給について 第 18 期の決算について 第 19 期の方針発表